

横山ダム50周年記念式典を開催します

～横山ダム50周年記念事業スタート～

概要

今年は横山ダムが昭和39年に完成してから50年という節目の年です。横山ダム及び揖斐川流域においては、50周年記念事業としてさまざまなイベントを実施します。

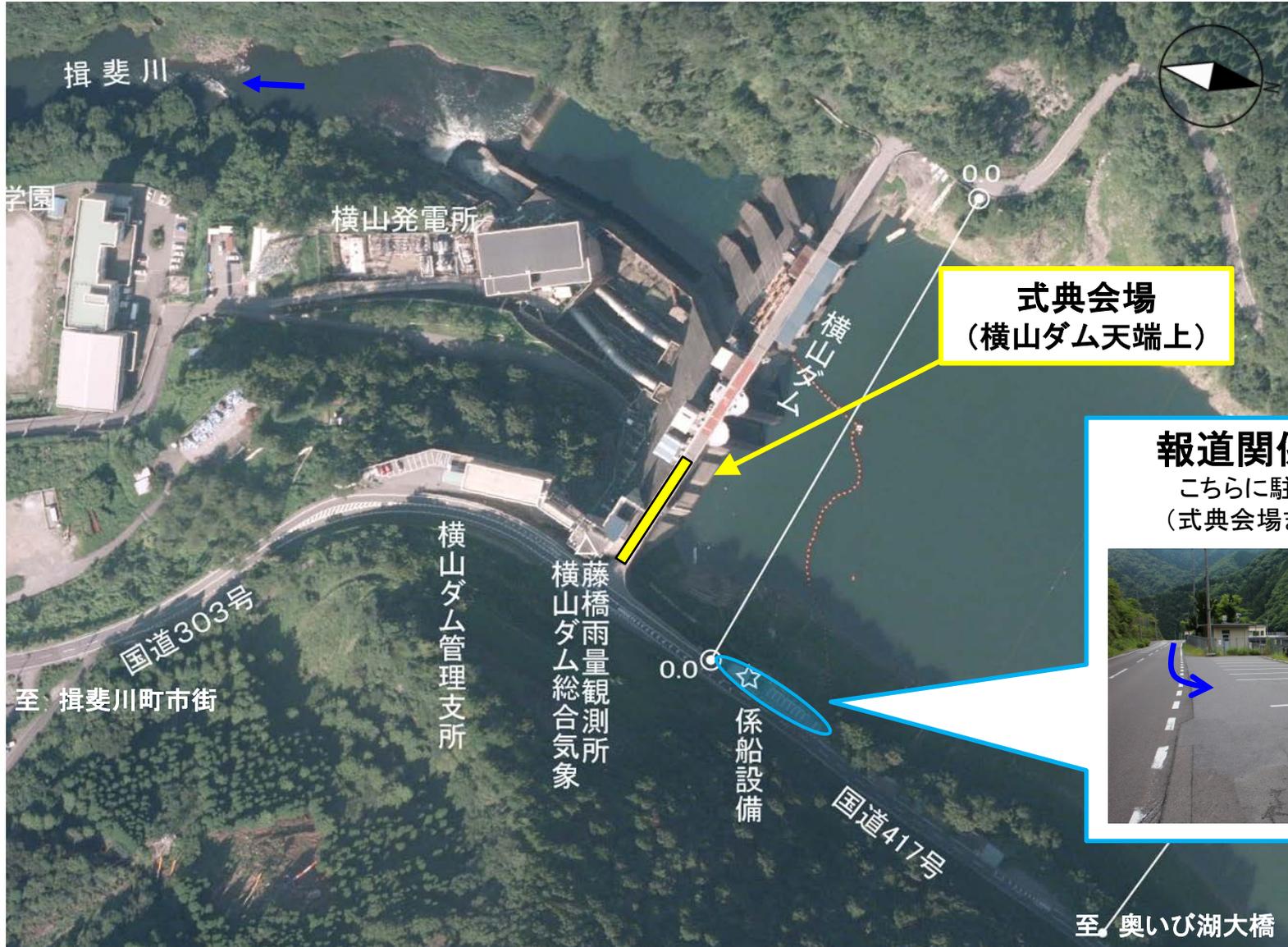
50周年記念事業のスタートとして、以下のとおり「横山ダム50周年記念式典」を開催します。

また『森と湖に親しむ旬間』に合わせ、7月19日～31日の間、ダム見学会やダム内部展示スペース（ファンタジーホール）の一般開放等のイベントを実施します。
(別紙リーフレット参照)

1. 式典開催日時 平成26年7月19日(土) 10時～11時30分(予定)
2. 式典開催場所 岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山1330 横山ダム(別紙-1のとおり)
3. 式典概要 別紙-2のとおり
4. 解 禁 指定なし
5. 配 布 先 岐阜県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ
6. 取 材 当日、取材の受付は午前9時30分から行いますので、取材される報道機関の方は「受付」にて手続きをしてください。当日の取材は、現地担当者の指示によりお願いします。
7. そ の 他
 - ①当日の天候や河川の状況等により中止となる場合があります。
 - ②取材にお越しの際は、別紙-1に示す駐車場をご利用ください。
 - ③他のイベントについても開催時期が近づきましたら随時お知らせします。
8. 問い合わせ先 国土交通省 木曾川上流河川事務所
岐阜市忠節町5-1 TEL 058-251-1321(代表)
副所長 上野 広志
管理課長 林 正順



『横山ダム50周年記念式典』
会場位置図



報道関係者駐車場

こちらに駐車してください
(式典会場まで約50mです)



『横山ダム50周年記念式典』概要

1. 目的

横山ダムは、治水、農業用水、発電を目的とした多目的ダムとして、昭和39(1964)年6月に竣工、同年10月に運用を開始してから平成26年(2014)で50周年を迎えます。

横山ダムは、翌年の昭和40年9月洪水を始めとする多くの洪水に対して洪水調節を行うとともに、農業用水・発電の必要な水量を確保し、流域住民の安全・安心や中京圏の発展に寄与してきました。さらに近年、ダム機能の回復を図るとともに、防災操作(洪水調節)のための容量を増加させる「再開発事業」を実施し、平成20年5月には、徳山ダムとの本格的な連携運用をスタートさせ、治水・利水機能をさらに強化しています。

運用開始から50年という節目の年を迎え、これまで横山ダムが担ってきた役割を振り返ることにより、再開発事業及び徳山ダムとの連携運用等により強化された横山ダムの必要性を再認識してもらうとともに、持続的な水源地域の活性化を図ることを目的として「横山ダム50周年記念事業」を行います。

このたび「横山ダム50周年記念事業」を『森と湖に親しむ旬間(7月21日～31日)』に合わせてスタートするにあたり、ダム管理にご尽力、ご協力いただいた関係各位に感謝の意を表すとともに、揖斐川流域住民の安全・安心を守るための事業実施に一層のご支援、ご協力をいただくため、記念式典を挙げるものです。

2. 日時

平成26年7月19日(土) 午前10時～11時30分(予定)

3. 場所

岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山1330(横山ダム天端上)

4. 主催等

1) 主催

横山ダム50周年記念事業実行委員会

岐阜県、大垣市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、桑名市、(独)水資源機構徳山ダム管理所、中部電力(株)、イビデン(株)、国土交通省木曾川上流河川事務所・木曾川下流河川事務所・越美山系砂防事務所

2) 後援

(一社) 中部地域づくり協会

5. 出席予定者（約60名）

国会議員、岐阜県議会議員、地元区長会
揖斐川流域の市長・町長
岐阜県、国土交通省 他

6. 式典スケジュール（予定）

- ①オープニングアトラクション
- ②開式
- ③式辞
- ④地元自治体挨拶
- ⑤国土交通省挨拶
- ⑥来賓祝辞
- ⑦来賓紹介
- ⑧事業報告
- ⑨テープカット・くす玉開披
- ⑩郷土芸能披露
- ⑪閉式

以上

揖斐川 とともに 50年

横山ダム50周年



ダムイベント

洪水による防災体制時、荒天の場合は中止することがありますのでご了承ください。

50周年記念式典
7/19(土)10:00~

横山ダム50周年を祝う記念式典を行います。
19日は会場の駐車場がございませんので、道の駅「星のふる里ふじはし」からのシャトルバスをご利用ください。

ダム堤頂部 一般開放
7/19(土)13:00~

横山ダムの堤頂部を50周年を機に一般開放します。
ダムからの景色をお楽しみください。

ダム見学会開催
7/19(土)13:00~31(木)

中空式のダム堤体内を見学できます。

- 土・日、祝日は随時見学可能
 - 平日は午前・午後の各1回
(要事前申込・定員制・先着順)
- 申込はネット予約が便利です。詳しくは横山ダム50周年記念事業ホームページをご覧ください。



ファンタジーホール 一般開放

7/19(土)13:00~・20(日)・21(祝)・26(土)・27(日) 19日以外は10:00~16:00

この5日間は、堤体内のファンタジーホールを一般開放します。ホール内では建設当時のビデオ映像を放映するほか、横山ダムを紹介したパネルや昔の揖斐川の様子を写真で紹介する『揖斐川の変遷(仮)』の展示を行います。

揖斐川交流イベント

詳しくは横山ダム50周年記念事業ホームページをご覧ください。

スタンプラリー

8/月上旬~11/30(日) (予定)

食文化交流「ダムカレー(予定)」

地域交流ツアー(予定)



横山ダム50周年記念事業では、他にも様々なイベントを予定しています。
詳しい内容は下記の『横山ダム50周年記念事業ホームページ』をご覧ください。
ダム見学会をご希望の方は、このホームページからお申し込みいただけます。

<http://www.yokoyamadam-50th.jp>

(バーコード機能のあるスマートフォン等からは、左のQRコードをご利用になると便利です。)

横山ダム50周年記念事業実行委員会

岐阜県、大垣市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、桑名市
独立行政法人水資源機構徳山ダム管理所、中部電力株式会社、イビデン株式会社
国土交通省越美山系砂防事務所、国土交通省木曾川下流河川事務所、国土交通省木曾川上流河川事務所
後援ノ(一社)中部地域づくり協会
事務局/国土交通省木曾川上流河川事務所(横山ダム50周年記念事業事務局) Tel. 058-251-1325(管理課)

最新情報はココをチェック!



「おだやかさ」と「激しさ」2つの顔を持つ『揖斐川』

揖斐川は岐阜県西部に位置し、福井県との県境の冠山(標高1,257m)に源を発し、濃尾平野の最も西側を流れ、三重県桑名市等を経て、伊勢湾に注ぐ幹川流路延長121km、流域面積1,840km²の一級河川です。大垣市をはじめ産業、交通が高度に発達した地域を流れ、長く地域の経済や生活、文化を育んできました。一方、台風等による洪水被害が多く発生し、生命や財産をおびやかすという、常に相反する二つの顔を持った河川として、長い歴史の中、地域と関り続けてきました。

横山ダムは河口より80km上流の岐阜県揖斐郡揖斐川町に位置し、昭和39年のダム完成以降は、洪水から下流地域を守り、農業用水、発電等により地域の発展に役立ってきました。



横山ダム流域(横山ダムに雨や雪などの水が流れ込む区域)

横山ダムのあゆみ



横山ダムは、治水や水資源開発に対する地域からの要請により建設が計画されました。昭和26年から岐阜県による調査が始められ、昭和28年からは所管が建設省(現・国土交通省)に移り、昭和34年に工事着手。昭和39年に完成しました。

平成2年から平成23年までは、湖内に貯まった土砂を掘削してダム機能の回復を図り、洪水調節のための容量を増加させる「再開発事業」を実施。また、平成20年からは、横山ダムから約10km上流に完成した徳山ダムと連携することで、治水・利水の機能をさらに強化しています。

昭和28年	建設省が直轄事業として調査着手
昭和34年9月	ダム工事着手
昭和39年6月	ダム完成
昭和39年10月	ダム管理を開始
昭和40年	管理開始以降、最大の流入量(約2,500m ³ /s)
平成2年	横山ダム再開発事業に着手
平成6年	異常渇水によりダム湖枯渇
平成20年	徳山ダムとの連携運用を開始
平成23年3月	横山ダム再開発事業完了
平成26年	ダム完成後50年を迎える



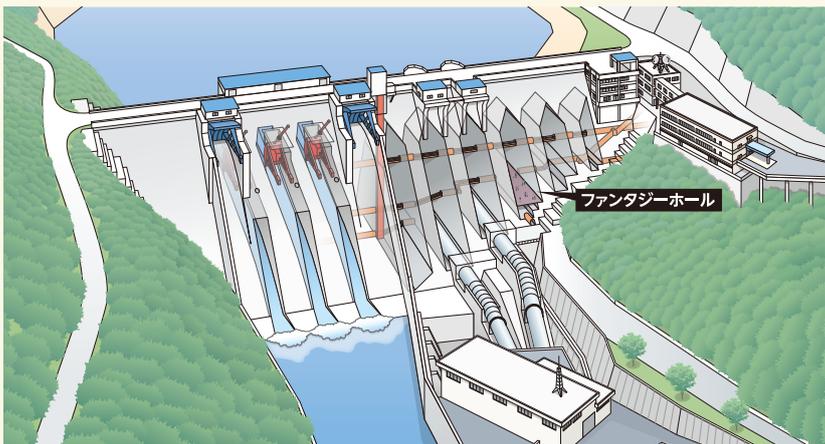
建設初期



完成間近の横山ダム



現在の横山ダム



ファンタジーホール

こだわりの技術

横山ダムは、中空重力式というダムの中に空間がある大変珍しい形式のダムです。日本国内にある約3,000ものダムの中で、13ダムしかありません。

空間を活用したファンタジーホールでは、現在、横山ダム及び揖斐川流域のパネル展示を行っています。